



正 誤 表

長崎県教育委員会2019『竹松遺跡』長崎県埋蔵文化財センター調査報告書第29集

頁	行	項目	誤	正
8	26	4a層	凝集が沈着	鉄分が凝集
16	23	④ 石錘	324は砂岩製の製品で	324は玄武岩製の製品で
18	10	① SB01	長径60cm前後が主で最大でも90cmは超えない。深さは24～58cm	長径80cm前後が主で最大でも100cmは超えない。深さは30～58cm
20	23	(3) 集石遺構	遺構が4基検出	遺構が3基検出
24	14	① 滑石製石鍋	体部仮内湾	体部が内湾
24	25	④ 瓦質土器	SP470出土した	SP470出土の
24	26	④ 瓦質土器	外反しない面には	外反し内面には
28		SP652	直径28 深さ24	直径84 深さ40
35		表10 324 石材	砂岩	玄武岩
59	2	6. 整理作業・報告書作成	整理作業は	削除
60		図23 5616グリッド		
66	28	(1) 近世陶磁器	同一個体の可能性がある。	削除
74 ～ 78		表11～表15	検出面 上	A区検出遺構は 8層下面 B区検出遺構は 2層下面 に読み替え